

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成21年4月16日(2009.4.16)

【公表番号】特表2006-524672(P2006-524672A)

【公表日】平成18年11月2日(2006.11.2)

【年通号数】公開・登録公報2006-043

【出願番号】特願2006-506149(P2006-506149)

【国際特許分類】

C 0 7 D 491/048 (2006.01)

A 6 1 K 31/519 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 P 31/22 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 491/048 C S P

A 6 1 K 31/519

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 31/22

【誤訳訂正書】

【提出日】平成19年12月28日(2007.12.28)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項1

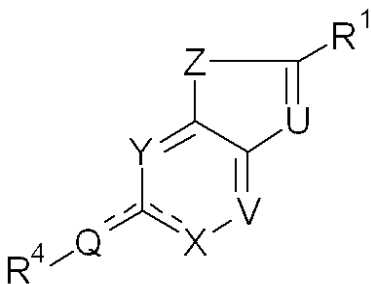
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項1】

式(1):

【化1】



(式中、

R<sup>1</sup>およびR<sup>4</sup>は独立にアルキル、アリール、アルケニルおよびアルキニルから選択され、ZはO、NH、S、Se、NR<sup>5</sup>および(CH<sub>2</sub>)<sub>n</sub>(式中、nは1~10である)およびCT<sub>2</sub>(ここで、Tは同一でも異なっていてもよく、水素、アルキルおよびハロゲンから選択され、R<sup>5</sup>はアルキル、アルケニルあるいはアリールである)から選択され、

YはN、CHおよびCR<sup>6</sup>(式中、R<sup>6</sup>はアルキル、アルケニル、アルキニルあるいはアリールである)から選択され、

QはO、S、NH、N-アルキル、CH<sub>2</sub>、CHアルキルおよびC(アルキル)<sub>2</sub>から選択され、

UはNおよびCR<sup>2</sup>から選択され、R<sup>2</sup>は水素、アルキル、ハロゲン、アミノ、アルキルアミノ、ジアルキルアミノ、ニトロ、シアノ、アルコキシ、アリールオキシ、チオール、アルキルチオール、アリールチオールおよびアリールから選択され、

VはNおよびCR<sup>3</sup>(式中、R<sup>3</sup>は水素、アルキル、ハロゲン、アルキルオキシ、アリールオ

キシおよびアリアルから選択される) から選択され、

二重結合がXとQが結合する環原子との間に存在し、Qが単結合によって環部分に結合するとき、XはN、CHおよびCR<sup>7</sup> (式中、R<sup>7</sup>はアルキル、アルケニル、アルキニルおよびアリアルから選択される) から選択され、

二重結合によりQが環部分に結合し、単結合がXとQが結合する環原子との間に存在するとき、R<sup>4</sup>は存在せず、XはNR<sup>8</sup> (式中、R<sup>8</sup>はアルキル、アルケニル、アルキニルあるいはアリアルであり、ただし、YがNであるとき、R<sup>8</sup>は、該アルキルまたはアルケニル基の鎖内に存在するいずれのヘテロ原子も含めて、該環部分から最短経路に沿って数えて、該鎖の4番目の原子において、OH、ホスフェート、ジホスフェート、トリホスフェート、ホスホネート、ジホスホネート、トリホスホネートおよびその薬理学的許容塩、誘導体およびプロドラッグから選択される構成員によって置換されたアルキルまたはアルケニル基ではない) である)

を有する化合物、ならびに式Iの化合物の薬理学的許容塩、誘導体およびプロドラッグ。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項15

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項15】

6-ブチル-3-シクロペンチル-3H-フロ[2,3-d]ピリミジン-2-オン (139) [Cf2158]

6-ブチル-2-シクロペンチルオキシ-フロ[2,3-d]ピリミジン (130) [Cf2159]

6-ヘプチル-3-シクロペンチル-3H-フロ[2,3-d]ピリミジン-2-オン (140) [Cf2160]

6-ヘプチル-2-シクロペンチルオキシ-フロ[2,3-d]ピリミジン (141) [Cf2161]

6-ブチル-3-(1-エチル-プロピル)-3H-フロ[2,3-d]ピリミジン-2-オン (142) [Cf2194]

6-ブチル-2-(1-エチル-プロポキシ)-フロ[2,3-d]ピリミジン (143) [Cf2193]

6-ヘプチル-3-(1-エチル-プロピル)-3H-フロ[2,3-d]ピリミジン-2-オン (144) [Cf2190

]

6-ヘプチル-2-(1-エチル-プロポキシ)-フロ[2,3-d]ピリミジン (145) [Cf2189]

6-ブチル-3-ペンチル-3H-フロ[2,3-d]ピリミジン-2-オン (146) [Cf2195]

6-ブチル-2-ペンチルオキシ-フロ[2,3-d]ピリミジン (147) [Cf2327]

6-ヘプチル-3-ペンチル-3H-フロ[2,3-d]ピリミジン-2-オン (148) [Cf2192]

6-ヘプチル-3-ペンチルオキシ-3H-フロ[2,3-d]ピリミジン-2-オン (149) [Cf2191]

6-ヘプチル-3-(テトラヒドロ-フラン-2-イル)-3H-フロ[2,3-d]ピリミジン-2-オン (154

) [Cf2196]

6-デシル-2-プロポキシ-フロ[2,3-d]ピリミジン Cf2303

6-デシル-3-プロピル-3H-フロ[2,3-d]ピリミジン-2-オン Cf2304

2-プトキシ-6-デシル-フロ[2,3-d]ピリミジン Cf2305

3-ブチル-6-デシル-3H-フロ[2,3-d]ピリミジン-2-オン Cf2306

6-デシル-2-ペンチルオキシ-2,3-ジヒドロフロ[2,3-d]ピリミジン Cf2247

2-シクロペンチルオキシ-6-デシル-2,3-ジヒドロフロ[2,3-d]ピリミジン Cf2250

3-シクロペンチル-6-デシル-2,3-ジヒドロフロ[2,3-d]ピリミジン-2-オン Cf2251

2-(1'-エチル-プロピルオキシ)-6-デシル-2,3-ジヒドロフロ[2,3-d]ピリミジン Cf2252

3-(1'-エチル-プロピル)-6-デシル-2,3-ジヒドロフロ[2,3-d]ピリミジン-2-オン Cf225

3

2-シクロヘキシルオキシ-6-デシル-2,3-ジヒドロフロ[2,3-d]ピリミジン Cf2294

3-シクロヘキシル-6-デシル-2,3-ジヒドロフロ[2,3-d]ピリミジン-2-オン Cf2295

6-デシル-3-(テトラヒドロ-フラン-2-イルメチル)-3H-フロ[2,3-d]ピリミジン-2-オン

72 Cf2309

2-シクロヘキシルメトキシ-6-デシル-フロ[2,3-d]ピリミジン Cf2274

3-シクロヘキシルメチル-6-デシル-3H-フロ[2,3-d]ピリミジン-2-オン Cf2275

- 2-ベンジルオキシ-6-デシル-フロ[2,3-d]ピリミジン Cf2307  
 3-ベンジル-6-デシル-3H-フロ[2,3-d]ピリミジン-2-オン Cf2308  
 6-デシル-3-(テトラヒドロ-フラン-2'-イル)-2,3-ジヒドロフロ[2,3-d]ピリミジン-2-オン Cf2249  
 6-デシル-2-(テトラヒドロ-フラン-3-イルオキシ)-フロ[2,3-d]ピリミジン 58  
 6-デシル-3-(テトラヒドロ-フラン-3-イル)-3H-フロ[2,3-d]ピリミジン-2-オン Cf2276  
 6-デシル-2-(テトラヒドロ-フラン-2-イルメトキシ)-フロ[2,3-d]ピリミジン 71  
 6-デシル-3-(テトラヒドロ-フラン-2-イルメチル)-3H-フロ[2,3-d]ピリミジン-2-オン  
 72  
 6-デシル-2-(テトラヒドロ-ピラン-2-イルメトキシ)-フロ[2,3-d]ピリミジン 61  
 6-デシル-3-(テトラヒドロ-ピラン-2-イルメチル)-3H-フロ[2,3-d]ピリミジン-2-オン  
 62  
 6-デシル-2-(4-メトキシベンジルオキシ)-3H-フロ[2,3-d]ピリミジン Cf2315  
 6-デシル-3-(4-メトキシベンジル)-3H-フロ[2,3-d]ピリミジン-2-オン Cf2316  
 6-デシル-2-(4-メチルベンジルオキシ)-3H-フロ[2,3-d]ピリミジン Cf2313  
 6-デシル-3-(4-メチルベンジル)-3H-フロ[2,3-d]ピリミジン-2-オン Cf2314  
 6-ヘキシル-3-メチル-3H-フロ[2,3-d]ピリミジン-2-オン Cf2344  
 2-ブチルオキシ-6-ヘキシル-フロ[2,3-d]ピリミジン Cf2346  
 2-ベンジルオキシ-6-ヘキシル-フロ[2,3-d]ピリミジン Cf2348  
 3-ベンジル-6-ヘキシル-3H-フロ[2,3-d]ピリミジン-2-オン Cf2349

を含む群より選択される化合物。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

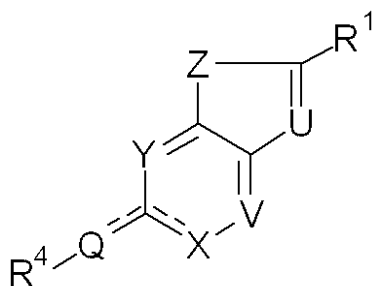
【訂正対象項目名】0011

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0011】

【化3】



(式中、

R<sup>1</sup>およびR<sup>4</sup>は独立にアルキル、アリール、アルケニルおよびアルキニルから選択され、  
 ZはO、NH、S、Se、NR<sup>5</sup>および(CH<sub>2</sub>)<sub>n</sub> (式中、nは1~10である)およびCT<sub>2</sub> (ここで、Tは同一でも異なってもよく、水素、アルキルおよびハロゲンから選択され、R<sup>5</sup>はアルキル、アルケニルあるいはアリールである)から選択され、

YはN、CHおよびCR<sup>6</sup> (式中、R<sup>6</sup>はアルキル、アルケニル、アルキニルあるいはアリールである)から選択され、

QはO、S、NH、N-アルキル、CH<sub>2</sub>、CHアルキルおよびC(アルキル)<sub>2</sub>から選択され、

UはNおよびCR<sup>2</sup> (式中、R<sup>2</sup>は水素、アルキル、ハロゲン、アミノ、アルキルアミノ、ジアルキルアミノ、ニトロ、シアノ、アルコキシ、アリールオキシ、チオール、アルキルチオール、アリールチオールおよびアリールから選択される)から選択され、

VはNおよびCR<sup>3</sup> (式中、R<sup>3</sup>は水素、アルキル、ハロゲン、アルキルオキシ、アリールオキシおよびアリールから選択される)から選択され、

二重結合がXとQが結合する環原子との間に存在し、Qが単結合によって環部分に結合するとき、XはN, CHおよび $CR^7$  (式中、 $R^7$ はアルキル、アルケニル、アルキニルおよびアリールから選択される) から選択され、

二重結合によりQが環部分に結合し、単結合がXとQが結合する環原子との間に存在するとき、 $R^4$ は存在せず、Xは $NR^8$  (式中、 $R^8$ はアルキル、アルケニル、アルキニルあるいはアリールであり、ただし、YがNであり、Uが $CR^2$ であり、Vが $CR^3$ であるとき、 $R^8$ は、該アルキルまたはアルケニル基の鎖内に存在するいずれのヘテロ原子も含めて、該環部分から最短経路に沿って数えて、該鎖の4番目の原子において、OH、ホスフェート、ジホスフェート、トリホスフェート、ホスホネート、ジホスホネート、トリホスホネートおよびその薬理的許容塩、誘導体およびプロドラッグから選択される構成員によって置換されたアルキルまたはアルケニル基ではない) である)

を有する化合物、ならびに式Iの化合物の薬理的許容塩、誘導体およびプロドラッグが提供される。